

解答例

I

問1 (5点)

排泄過程の障害である便秘は、成人全体の12~19%に発症しており、身近な問題となっています。

問2 (10点)

温罨法による皮膚への温刺激は、身体的負担が少なく副作用も少ないため、排便を促すことが報告されている。副交感神経の活性化は排便を誘発し、交感神経の活性化は排便を抑制する。温感は身体をリラックスさせ、交感神経と副交感神経をそれぞれ抑制または活性化すると考えられているため。

問3 (10点)

皮膚や表面筋への血流増加は交感神経活動の低下と等価であり、これは副交感神経系の活性化と交感神経系の抑制に関与していると考えられています。

解答例

Ⅱ

問 1 (8 点)

「疾病をみる『医療』の視点だけではなく、『生活』の視点をも持って人を見る」という看護の専門職としての価値は、今後も揺るぎないものとして存在する。

問 2 : (5 点)

生産年齢人口の急激な減少と 85 歳以上の高齢者の増加

問 3 (12 点)

技術革新、特にデジタル技術とデータの活用による DX の発展は、人々を取り巻く環境や日々の暮らし、働き方に、これまでの価値観を超える、前例のない状況をもたらす。さらに、人々の多様なあり方を互いに尊重し、支え合うことを重視するダイバーシティやインクルージョンの考え方が、社会の価値観として定着していく。